

暁天会の活動

○平成20年度

暁天会の活動

(一)平成二十年五月二十一日、農業大学校に於いて役員会を開催。
まず会長挨拶、大学校長の挨拶についで平成二十年度の全体的な話し合いに入った。

その前に、

(ア)平成十九年七月十日、東京代々木の青少年総合センターで行われた「平成二十年全国農業大学校同窓会々々長会議」についての報告。この会議に今回は農水省からの出席者は無く、また欠席の理由については事務局からも何の説明もなかったが、日本の食糧自給率三十九%（分りペース）云々などから考えても、余りにも農村・農民に対する軽視ではないかと少々良い気分とはならなかった。また、今回から今迄と比

較して、同窓会として大学校と対峙出来る範疇の内容と言えるものであった。
(イ)同窓会と大学校との協力関係を密にし、大学校の活動に寄り添う方策。
(ロ)同窓会の充実強化の方策。

この(イ)(ロ)について、各県とも同窓会活動では適切な行動が出来ていなかった点が大きく浮んできた。

各県の報告の中で、岡山県の報告では日常生活で卒業生が地域のリーダー的存在で、各農家と密接につながっており、大学校進学にも地域農家の子弟の推薦なども行っている。

(二)平成十九年九月二十日、二十一日の二日間に互って、栃木県が幹事県として二二二ノ塩原に於いて、「関東ブロック農業大学校

同窓会々々長会議」が開催された。今回は、「農業大学校運営への協力体制のあり方について」として、前もって各県の同窓会に本題に対してのアンケートの提出があった。この説明から会議に入った。

出席者から質問があった訳ですが、次の点について記録しておきます。
①静岡県では、磐田市にある産業大学校と意見交換などを行い学校との対話の中で、各種質の向上に活用をしている。
②千葉県では、同窓会予算の中から毎年学校図書

の充実のため、年間二十万円の寄附を行っている。
③某同窓会から「同窓会は学校に対して受身なのかどんなのか」との質問が出て、出席者の大半の意見として、「全体的に同窓会は受身だ」との答えであった。

④山梨県では、従来から農水省管の農業大学校から、農水省・文科省両省所管として、正式校名は「専門学校山梨県立農業大学校」となるので、現在は教育内容などについて検討に入っている。
以上であります。各県同窓会から提出されたアンケートの資料は、大学校の事務所に保管されている。

(二)卒業式および入学式
両方に暁天会々々長が出席しました。今年度の卒業式は三月十九日に行われ、卒業生二十四名（研究科四名、専修科二十名）です。
入学式は、四月二日に行われ、研究科四名、専修科十九名です。時代の流れと言わなければならないのは、帰省者が増えているとは書かれています。今年の特徴は女子の入学者が非常に少なくなっている様に見受けられる。

(三)平成十九年度事業報告及び決算報告について
伊藤理事から(別表1)の説明報告を受け、平成十九年度決算書などについて原

案通り承認されました。
(四)平成二十年事業計画及び収支予算について
(別表2)に示す通り、収支予算については原案通り可決されました。また、事業計画については、七十周年記念事業の一つであります「八農情報ネット」については当初計画を大幅にダウンせざるを得ない状況となっています。七十周年記念大会前に再度役員会を開き最終調整を行って大会に望むという事となった。

管として、正式校名は「専門学校山梨県立農業大学校」となるので、現在は教育内容などについて検討に入っている。
以上であります。各県同窓会から提出されたアンケートの資料は、大学校の事務所に保管されている。

(二)卒業式および入学式
両方に暁天会々々長が出席しました。今年度の卒業式は三月十九日に行われ、卒業生二十四名（研究科四名、専修科二十名）です。
入学式は、四月二日に行われ、研究科四名、専修科十九名です。時代の流れと言わなければならないのは、帰省者が増えているとは書かれています。今年の特徴は女子の入学者が非常に少なくなっている様に見受けられる。

(三)平成十九年度事業報告及び決算報告について
伊藤理事から(別表1)の説明報告を受け、平成十九年度決算書などについて原

別表1 平成19年度 暁天会決算書

●収入 平成19年4月1日～平成20年3月31日 (単位 円)

科目	決算額	予算額	摘要
前年度繰越金	3,407,226	3,407,226	
同窓会費	450,000	450,000	19年度新入生会費30名
貯金利息	5,424	100	
雑収入	0	1,000	
収入合計	3,862,650	3,858,326	

●支出

科目	決算額	予算額	摘要
会報印刷費	236,250	330,000	暁天新聞
通信運搬費	315	50,000	送料
会議費	22,400	40,000	役員会等
分担金	14,000	50,000	全国協議会負担金
旅費	179,540	300,000	役員会等
支部活動費	0	50,000	支部活動援助
慶弔費	0	15,000	
嘱託費	0	30,000	
雑費	0	25,000	
小計	452,505	890,000	
次期繰越金	3,410,145	2,968,326	
支出合計	3,862,650	3,858,326	



▲気球から見た直売所、上方は暁天寮

案通り承認されました。
(四)平成二十年事業計画及び収支予算について
(別表2)に示す通り、収支予算については原案通り可決されました。また、事業計画については、七十周年記念事業の一つであります「八農情報ネット」については当初計画を大幅にダウンせざるを得ない状況となっています。七十周年記念大会前に再度役員会を開き最終調整を行って大会に望むという事となった。

暁天会の動き

端武義氏を新会長に選出

十年に一回の暁天会の全国総会が式典終了後第一会場で開催されました。
議題としては、昨年から辞意を申し出ておりました島田会長に、創立七十周年の記念行事終了までは、留任をさせていただいておりました。
その間、昨年の役員会で端氏が新会長として内定しており、今回提案し承認されました。
島田前会長には、県の社会福祉事業のお仕事で多忙の中、今日迄ご苦労様でした。
また、選出されました端新会長が「七十周年の節目にたつて」の中で宣言されております「母校発展のために力と智恵を」全会員に求められており、母校危機の今日、団結し協力する時です。

暁天会 役員名簿

役職	氏名	卒業年度	役職	氏名	卒業年度
会長	ハタケ タケヨシ 端 武 義	昭和32年度	理事	タカダ マサエ 高 田 政 衛	昭和43年度
副会長	タダ イサヲ 多 田 勲	昭和29年度	監事	イワナミ ヨシミツ 岩 波 義 光	昭和29年度
副会長	キタハラ ミツヒロ 北 原 光 博	昭和44年度	監事	コバヤシ マサヨシ 小 林 正 喜	昭和38年度
理事	ママセ イサム 間 々 瀬 勇	昭和28年度			
理事	コバヤシ ヨシノブ 小 林 一 良	昭和41年度	顧問	シマダ オ 島 田 昭 郎	昭和23年度
理事	シノハラ マンロウ 篠 原 万 郎	昭和56年度	顧問	アオキ トシオ 青 木 敏 雄	昭和15年度
理事	ヤスダ ヤヨイ 安 田 弥 生	平成9年度	顧問	モロモロ セイイチ 両 角 清 一	昭和21年度
理事	イトウ フミホ 伊 藤 文 保	賛助会員	顧問	シモダ ヒデオ 下 田 英 雄	前校長

七十周年の節目にたつて

端武義氏
暁天会会長



暁天会々員の皆様には、御健勝にてご活躍のことと拝察しお慶び申し上げます。
初め、不肖私はさる平成二十年十月十八日の暁天会総会において会長に選任されました。昭和十三年創立から七十余年の伝統ある八ヶ岳中央農業実践大学の卒業生をお引き受けする器ではなく、もとより浅学非才のものですが、承りましたからには誠心誠意、会の発展と母校「八ッ農」繁栄のために努力したいと存じます。ここに暁天紙上から就任のご挨拶をいたしますとともに、島田前会長と同様のご支援と協力をお願い申し上げます。

顧みますと、私が研究科生として入学したのは、昭和三十三年四月一日でした。当時は「八ヶ岳経営伝習中央農場」という校名でした。本場・研究科生の五十九名が柳田友輔農場長先生のもと十八名の先生方から実践教育を受け、牧野造成の除石作業・酪農・馬鈴薯・野菜づくりなどの実習体験をしました。また、同年七月二十日「創立二十周年記念式典」が開催されました。石黒忠篤会長・久保佐土美第一代農場長先生がご壮健にてご出席され、盛大なものでした。そして、旧満州一竜山農場において殉難された方々の「慰霊祭」をご遺族参列のものとせよと取りおこなわれました。

まさに歳月の過ぎることは早いもので、その年から五十年が経過し、昨年十月十八日には「創立七十周年記念式典」が秋晴のなか、盛況裡に挙行されました。式典に出席下さった方々、協賛くださった皆様方に厚く御礼申し上げます。そして、その前日には、石黒忠篤・久保佐土美・小平権一の三先生の「顕徳碑」が除幕されました。この碑は大先輩で元農場主任をしていらつしゃった藤岡清先生が建立なされたもので、同氏の熱情あふれたご挨拶には深い感銘をうけました。ここに、私達暁天会会員一同は藤岡先生の御社健をお祈りし感謝申し上げます。

このように私達が学んだ八ッ農は、激動の昭和と平成を歩み続け、その沿革は記念誌で読み見ることが出来ます。今日では二百五十ヘクタールの大農場となり、本館・暁天寮・林檎寮（女子寮）・講堂そして近代的な牛舎・鶏舎・温室などの諸施設・機械・トラクターなど整備されています。これらが緑美しい農場に点在し、牧野には乳牛が放牧され八ヶ岳畜産にすばらしい景観をかもしだしています。まさに名実ともに斯界に認められた農業実践教育の総本山となりましたが、これこそ開基して汗を流した七十年の結晶でもあります。

近頃になって、「今こそ農業を成長産業へ、これからは農業の時代」と叫ばれるようになりまして、農業を取り巻く情勢は依然として厳しいものがあります。このなかで母校八ッ農も助成費削減減向・少子化での学生募集等教育と経営について更なる検討を重ね、八ッ農カレッジを立ち上げる今こそ、私達は八ッ農出身というプライドと熱情をもって母校発展のために力と智恵を出し合い団結協力してゆきましょう。
その一つとして、これまで以上に「学生募集」にご協力をお願いしたいことです。同封の募集要項にてご推薦して下さい。
その二つとして、同じ釜のメシを喰った同志のきずなを深めるため、皆様の同朋会・県支部会等の活動を活性化していただきとうございませう。八ッ農・暁天会からも、ぜひ出席させて下さい。
その三つとして、この暁天紙の「会員通信」欄を拡充充実したいというごです。皆様のユニークな経営・技術と実績、そして活動状況・御意見など多士多様な方々の情報交換の場としたいものです。

平成20年度 暁天会決算書

●収入 平成20年4月1日～平成21年3月31日 (単位 円)

科 目	予算額	決算額	備 考
前年度繰越金	3,410,145	3,410,145	
同窓会費	330,000	360,000	20年度新入生会費24名
貯金利息	100	5,994	
雑収入	1,000	595,739	70周年寄付金残入金他
収入合計	3,741,245	4,371,878	

●支出

科 目	予算額	決算額	備 考
報 印 刷	330,000	159,600	暁天新聞
通 信 運 費	50,000	1,545	送料等
会 議 費	40,000	13,700	役員会等
分 担 金	50,000	32,000	全国協議会負担金
旅 費	300,000	157,810	役員会等
支 部 活 動 費	50,000	10,000	支部活動援助
慶 弔 費	15,000	0	
贈 託 費	30,000	0	
雑 費	25,000	0	
小 計	890,000	374,655	
小 期 繰 越 金	2,851,245	3,997,223	
支出合計	3,741,245	4,371,878	

暁天会の動き

本年度役員会の議事概要

平成二十二年年度の役員会は、天候不順による低温傾向が心配された四月中旬、十七日に大学校会議室において開催されました。退任等により二名の方が欠席されましたが、予定通り議事進行をみる事ができました。

概要は、次の通り。

まず、端会長から、先頃の入学式について感動の言葉とともに挨拶があり、続き、小口校長先生から大学の近況を含めてご挨拶をいただいたのち協議に移りました。

一、平成二十一年度事業報告及び決算報告について
高橋総務部長より別記の通り

「農大同窓会全国連盟総会」の様子が端会長から、佐久市の国民宿舎望月荘における「関東ブロック農大同窓会会長会議」について多田副会長から報告があり、意見交換を行いました。

二、平成二十一年度事業計画及び予算案について
高橋総務部長より別記の通り事業報告及び予算案に対する提案があり、協議の結果了承されました。

承されました。

三、役員会の補選について
端会長より、本年度暁天会の役員体制について、高田政衛理事（大学校職員）が大学校を定年退職されることに伴う後任の件及び芳沢理事の退任申し出に伴う後任の件について提案がありました。

この件については、まず高田理事の後任に伊東秀樹新理事（本科四十二期）、芳沢理事の後任には広町悦雄新理事（研究科四十六期）をお願いすることで承認をしました。

四、「暁天」の編集発行について平成二十二年七月末の発行を目指す事としました。その際、原稿依頼等詳細について協議を行った。

五、その他
A 農村更生協会創立七十五周年について
農村更生協会からの働きかけがあった時に、適切な対応をする。

B 農村更生協会・大学の近況について

小口校長先生はじめ学校側からの近況報告等基づいて質疑応答の形で、フリートークを行い有意義でありました。

支部の組織化を働きかけ活動の活性化を図るために、同期会等の実施状況と併せて、活躍中の会員の生の声や農業経営改善・地域の農業振興などに尽力のことなども、この暁天紙に紹介していく事を申し合わせました。

表1 暁天会 役員名簿

役職	氏名	卒業年度	役職	氏名	卒業年度
会長	ハタタケ ヨシタカ 端武義	昭和32年度	理事	イトウ ヒデキ 伊東秀樹	昭和56年度
副会長	タダ イサヲ 多田勲	昭和29年度	監事	イワノ ミツヨシ 岩波義光	昭和29年度
副会長	キダハラ ミツヒロ 北原博	昭和44年度	監事	コバヤシ マサヨシ 小杉正喜	昭和38年度
理事	ヒロマチ エツオ 広町悦雄	昭和58年度			
理事	ママセ イサム 間々瀬勇	昭和28年度			
理事	コバヤシ カズヨシ 小林一良	昭和41年度	顧問	シマダ アキオ 島田昭郎	昭和23年度
理事	シノハラ マンロウ 篠原万郎	昭和56年度	顧問	アオキ トシオ 青木敏雄	昭和15年度
理事	ヨシダ カヨイ 依田弥生	平成9年度	顧問	モロシロ カズ一 岡角清一	昭和21年度
理事	イトウ フミイ 伊藤文保	賛助会員	顧問	シモダ ヒデアキ 山下英雄	前校長

表2 平成21年度 暁天会決算書

平成21年4月1日～平成22年3月31日 (単位 円)			
科 目	予算額	決算額	摘 要
前年度繰越金	3,997,223	3,997,223	
同窓会費	435,000	450,000	21年度新入生会費30名
貯金利息	100	2,241	
雑収入	1,000	6	
収入合計	4,433,323	4,449,470	
●支出			
科 目	予算額	決算額	摘 要
会報印刷	350,000	205,065	暁天新聞
通信運搬費	50,000	5,980	送料等
会議費	40,000	25,900	役員会等
分担金	50,000	64,500	全国協議会負担金
旅費	250,000	229,450	役員会等
支部活動費	50,000	0	支部活動援助
慶弔費	15,000	0	
嘱託費	30,000	0	
雑費	25,000	11,845	
小計	860,000	542,740	
次期繰越金	3,573,323	3,906,730	
支出合計	4,433,323	4,449,470	

暁天会の動き

本年度役員会の議事概要

平成二十二年年度の役員会は五月十四日に大学の第一教室に於いて、理事監事合わせて九名と大学校から小口校長、林企画総務部長が出席され開催されました。

役員会概要は次の通りです。

端会長から、この度の東日本大震災についてお見舞い申し上げます。出来るだけ早く復興されることを願っていますとの挨拶があり、また小口校長からは暁天会顧問の両角清一氏と同氏の友人加藤福英氏から多額の寄付金をいただきましたので、学生の奨学金として活用させていただく予定であること、そしてさらに新入

表1 暁天会 役員名簿

役職	氏名	卒業年度	役職	氏名	卒業年度
会長	ハタ タケ ヨシ 端 武 義	昭和32年度	理事	イ 藤 フミ ホ 伊 藤 文 保	賛助会員
副会長	タダ イサフ 多 田 勲	昭和29年度	監事	イワ ナミ ヨシ 岩 波 義 光	昭和29年度
副会長	キタ ハラ ミツ ヒロ 北 原 光 博	昭和44年度	監事	コバ ヤシ マサ 小 林 正 喜	昭和38年度
理事	マ マセ ヨシ 間 々 瀬 勇	昭和28年度			
理事	コ バシ カズ ヨシ 小 林 一 良	昭和41年度			
理事	シノ ハラ マン ロウ 篠 原 万 郎	昭和56年度	顧問	シマ ダ アキ オ 島 田 昭 郎	昭和23年度
理事	イ イ ヒデ オ 伊 東 秀 樹	昭和56年度	顧問	ア オ キ ム オ 青 木 敏 雄	昭和15年度
理事	ヒロ マチ エツ オ 広 町 悦 雄	昭和58年度	顧問	モロ ズ ミヨ 両 角 清 一	昭和21年度
理事	ヨ イ ヤヨ イ 依 田 弥 生	平成9年度	顧問	シモ ダ ヒデ 下 田 英 雄	前校長

表2 平成22年度 暁天会決算書

●収入 平成22年4月1日～平成23年3月31日 (単位 円)

科 目	予算額	決算額	備 考
前年度繰越金	3,906,730	3,906,730	
同窓会費	555,000	555,000	22年度新入生会費37名
貯金利息	1,600	1,660	
雑収入	0	0	
収入合計	4,463,330	4,463,390	

●支出

科 目	予算額	決算額	備 考
会報印刷費	300,000	131,250	暁天新聞
通信運搬費	50,000	0	送料等
会議費	40,000	13,950	役員会等
分担金	50,000	34,000	全国協議会負担金
旅費	250,000	222,340	役員会等
支部活動費	50,000	0	支部活動援助
慶弔費	15,000	0	
嘱託費	30,000	0	
雑費	25,000	13,705	
小計	810,000	415,245	
次期繰越金	3,653,330	4,048,145	
支出合計	4,463,330	4,463,390	

ました。

その他活動については、同期会、支部会の活動を活性化するため助成を行うので、大学校事務局に連絡いただきます。

○暁天会の活動促進するため、各卒業期毎に、代表者を推薦していただくこと。

○東日本大震災関係については、対象地域の卒業生の状況を把握を急ぎとりすめること。

等について申し合わせました。

農業大学校同窓会 全国連盟では

農業大学校同窓会全国連盟は、四十一校と、法人組織の観測学園、日本農業実践学園と八ヶ岳中央農業実践大学校三校の同窓会も加わり、四十五校で組織された連盟です。

この連盟に加入している農業大学校同窓会は、毎年会長

総会が開かれております。全国の同窓会々長総会前には、全国を五ブロックに分け、各ブロック会長会議が開かれております。

五ブロックとは、東日本(六校)、東海・近畿(九校)、中国・四国(九校)、九州(八校)と関東ブロック(茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、神奈川、静岡、山梨、長野、新潟と法人組織三校が加わり十三校)となっております。

平成二十二年年度の関東ブロック総会及び全国総会は、次のように開催されました。

関東ブロック総会は、かながわ農業アカデミーが当番校で六月八日に横浜で開催されました。続いて、七月十四日に国立オリンピック記念青少年総合センターを会場として全国会長総会が開かれました。

全国総会でもブロック会でも、主たる議題は「会長の互選」と「同窓会活動の活性化」です。その中であって、平成二十二年度としては、前年度より継続しているのが「同

窓会活動の活性化」の問題でしよう。

(一)会長の互選について
二期四年間、ブロック会長及び農業大学校同窓会長としてご苦勞されました栃木県同窓会長川又康之亮氏は引退し、顧問になり、新しく会長には、埼玉県同窓会々長神田新一郎氏が互選された。

なお、連盟事務局長は、木村一栄氏に継承を願いました。

(二)同窓会活動の活性化について
同窓会活動は、何処の農業大学校の同窓会とも大変なとの報告です。今日、この点について各大学校の同窓会で解決の方向性を大いに議論すべき課題ではないでしょうか。

八ヶ岳中央農業実践大学校においても、このことについて話し合っ必要があると思えます。

暁天会の動き

本年度役員会の概要

平成二十四年度の役員会は、五月二十六日、八農会議室に於いて、理事一名欠席のもと開催されました。役員会の概要は、次のとおりです。

まず、端会長から、小口英吉先生が昨年夏に入院加療をされて、十月に校長職を退任されたこと、そして、新校長として宮脇耕平先生が就任された旨の報告があり、さらに、本会役員改選があることなど議案を慎重審議していただきたいことを述べました。

引き続き、宮脇校長先生から、校長就任のご挨拶と八農の近況報告並びに教育と農場運営について、その実態とこれからの抱負について述べられました。そしてこの後、議事に入りました。

一、平成二十三年度事業報告及び決算報告について
林総務企画部長から別紙の事業報告及び決算報告の説明があり、多田副会長から、同窓会全国連盟総会・関東ブロック農大同窓会会議に出席したことなどの概要報告がなされました。

表1 暁天会 役員名簿

役職	氏名	卒業年度	役職	氏名	卒業年度
会長	端 武 義	昭和32年度	理事	唐 木 イ 平	昭和43年度
副会長	小林 一 良	昭和41年度	監事	小林 正 喜	昭和38年度
理事	篠原 郎 郎	昭和56年度	監事	高橋 昭	賛助会員
理事	伊東 秀 樹	昭和56年度			
理事	広 町 悦 雄	昭和58年度	顧問	宮 脇 耕 平	校長
理事	依田 弥 生	平成9年度	顧問	島 田 昭 郎	昭和23年度
理事	伊藤 文 保	賛助会員	顧問	青 木 敏 雄	昭和15年度
理事	塩 沢 崇 秀	昭和38年度	顧問	モロ 岡 清 一	昭和21年度
理事	藤 本 ヒサ 寿	昭和54年度	顧問	シモ 田 英 雄	元校長

表2 平成23年度 暁天会決算書

●収入 平成23年4月1日～平成24年3月31日 (単位 円)

科 目	予算額	決算額	備 考
前年度繰越金	4,048,145	4,047,620	
同窓会費	465,000	480,000	23年度新入生会費32名
貯金利息	1,600	995	
雑収入	0	7,000	交通費返戻2名分7,000
収入合計	4,514,745	4,535,615	

●支出

科 目	予算額	決算額	備 考
会報印刷費	300,000	178,500	暁天新聞
通信運搬費	50,000	175,459	送料等
会議費	40,000	14,000	関東ブロック同窓会会議
分担金	50,000	32,500	全国協議会負担金
旅費	250,000	237,450	役員会、暁天新聞発行等
支部活動費	50,000	0	支部活動援助
慶弔費	15,000	5,000	小口校長お見舞い
順託費	30,000	0	
雑費	25,000	3,947	色紙代3,107 送金手数料840
小計	810,000	646,856	
次期繰越金	3,704,745	3,888,759	
支出合計	4,514,745	4,535,615	

理事候補者
塩沢 崇 本科二十五期生

端会長から、先程の宮脇校長先生の挨拶と報告、暁天紙上の農村更生協会大森副会長の近況報告と本会に対する期待・協力方について等の説明があり、これからは暁天会役員一丸となって益々厳しくなりつつある実践教育と農場運営に積極的に参画・支援等をもつて母校八農の発展に寄与しようと呼びかけられました。

引き続き、岩波監事から監事会・監査結果の報告がありました。この後審議に入り、本議案は承認されました。二、平成二十四年度事業計画及び予算案について
林総務企画部長から別紙の事業計画及び予算案について説明があり、審議の後、本案は原案どおり承認されました。三、役員改選について
端会長から、役員改選の動向について報告がなされました。それは、北原副会長から健康上の理由により辞任したい旨の届が提出されたこと・そして、今般、間々瀧理事・多田副会長・岩波監事には、後進にバトンタッチをして下さることに同意されました。報告がなされ、今回の改選は、理事二名・監事一名となること、本会会則第八条により、役員候補者名簿が提出されました。

藤本 人 寿 研究科四十二期生
唐木 イ 平 本科三十期生
監事候補者
高橋 昭 賛助会員
審議のあと、原案どおり承認されました。
小林一良理事を副会長に選出し、さらに顧問には宮脇耕平校長を推挙承認されました。四、「暁天」の編案発行について
伊藤文保理事から、暁天の編案、進捗状況について報告。現段階は第一校のゲラの校正中、このゲラを掲示して説明発行は六月中下旬を目途にしていること、十二ページとし、十二ページ目はカラー印刷として、八農の農畜産物のPRをしたいことも強調、意見交換のあと了承。
四、その他
A、農村更生協会・大学校近況報告について
端会長から、先程の宮脇校長先生の挨拶と報告、暁天紙上の農村更生協会大森副会長の近況報告と本会に対する期待・協力方について等の説明があり、これからは暁天会役員一丸となって益々厳しくなりつつある実践教育と農場運営に積極的に参画・支援等をもつて母校八農の発展に寄与しようと呼びかけられました。

B、暁天会の活動活性化について
このことについては、活発な意見が開陳されましたが、これの具体策として、「同郷生会・異人会」の開催にも中心となる世話役・幹事さんをお願いしたい、お願いしたいという方向を昨年から役員会においても継続検討してきましたが、この「幹事」のメンバー候補(別紙)について説明、これからさらにご本人の承諾を得て、委嘱することしたい。また、役員各位の協力を特にお願ひ致したい旨を端会長から述べられたあと、承認されました。

暁天会の動き

本年度役員会

平成二十五年度の役員会は、六月一日、八農会議室に於いて開催されました。役員会の概要は、次のとおりです。

まず、端会長から、本会新役員として就任された塩沢崇・藤本人寿・唐木一平の三理事、並びに高橋昭監事の紹介があり、続いて宮脇耕平先生が三月末日をもって校長職を退職されたこと、そして新校長として藤井智之先生が就任されました。続いて、各議案を慎重に審議していただきました。

こと、また本日は八農の教育と実習の現場をつぶさにみていただき、意見交換をいたしたい旨を述べました。このあと、藤井校長先生から校長就任の挨拶と八農の近況報告、これからの抱負について述べられました。引き続き、就任された四役員から自己紹介がなされました。

以上の後、議事に入りま

暁天会 役員名簿

表1

役職	氏名	卒業年度	役職	氏名	卒業年度
会長	端武義	昭和32年度	理事	唐木一平	昭和43年度
副会長	小林良	昭和41年度	監事	小林正喜	昭和38年度
理事	篠原万郎	昭和56年度	監事	高橋昭	賛助会員
理事	伊東秀樹	昭和56年度			
理事	広町悦雄	昭和58年度	顧問	藤井智之	校長
理事	依田弥生	平成9年度	顧問	島田昭郎	昭和23年度
理事	伊藤文保	賛助会員	顧問	青木敏雄	昭和15年度
理事	塩沢崇	昭和38年度	顧問	岡角清一	昭和21年度
理事	藤本人寿	昭和54年度	顧問	山下田英雄	元校長

表2

平成24年度 暁天会決算書

平成24年度4月1日～平成25年3月31日

●収入		(単位 円)		要
科目	予算額	決算額	摘要	
前年度繰越金	3,888,759	3,888,759		
同窓会費	405,000	435,000	24年度説明入会費27名 24年度後入会2名	
貯金利息	1,000	969		
雑収入	0	47,925	寄付金：戸東氏24,925 船久氏10,000 藤原氏11,000 藤原氏 2,000	
調整額				
収入合計	4,294,759	4,372,653		
●支出				要
科目	予算額	決算額	摘要	
会報印刷費	300,000	220,500	暁天新聞	
通信運搬費	200,000	175,370	送料等	
会議費	40,000	23,500	関東ブロック同窓会長会議	
分担費	50,000	34,000	全国協議会負担金	
旅費	250,000	207,260	役員会、暁天新聞発行等	
支部活動費	50,000	0	支部活動援助	
慶弔費	15,000	0		
購託費	30,000	0		
雑費	25,000	24,059	二輪山車庫前等、役員手帳料、色紙代、記念品代、菓子代	
小計	960,000	6384,689		
次期繰越金	3,334,759	3,687,964		
支出合計	4,294,759	4,372,653		

一、平成二十四年度事業報告及び決算報告について
林総務企画部長から、別紙により事業報告及び決算報告があり、端会長より、全国農業大学校同窓会全国連盟総会及び同窓会会長会議と同関東ブロック同窓会会長会議に出席したことの概況報告がありました。

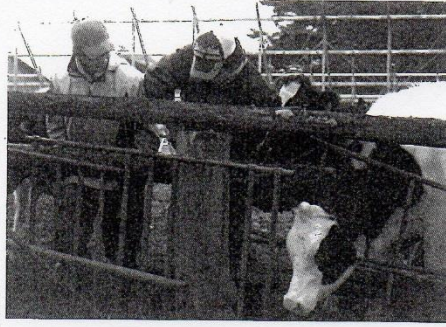
この後、小林正喜監事から監事会、監事監査の結果について報告がありました。そして審議に入り、本議案は承認されました。

二、平成二十五年度事業計画及び予算案について
林部長から、別紙の事業計画及び予算案について説明があり、審議の結果、本議案は原案どおり承認されました。

三、「暁天」の編集発行について
伊藤文保理事から、暁天の編集進捗状況について報告。第四校のゲラを掲示し、

四、その他
(一)、暁天会の活動活性化について
このことについては、活発な意見が開陳されました。同期生会・県人会などが以前より活発でなくなっていく傾向のなか、如何にして呼びかけてゆくべきか、世話役・幹事役をかつてやっていた方々に啓蒙PRも積極的に展開してゆくことを申し合わせました。

(二)、八農創立八十周年記念について
農業界とりわ



て詳細説明、発行は六月中旬を予定、今年も十二ページとしたこと、八農の農畜産物のPRもしたことを強調、了承されました。

八農も厳しい情勢下であるものの、創立八十周年の節目の年を平成三十年に迎えるに当たり、これまでの記念行事にとらわれないかたちでの開催を検討すべきときになった旨を端会長から発言。そのときには役員各位のご協力ご支援についてお願いすることになろうと述べました。

暁天会の動き

本年度役員会

平成二十六年年度の役員会は、五月三十一日、八農会議室に於いて開催されました。役員会の概要は、次のとおりです。

まず、端会長から、農業情勢と暁天会の近況報告があり、続いて、今般、事務局を担当して下さっていた林省一部長が退職されることになったこと、そしてお世話になったことの御礼が述べられました。後任には、藤森富夫氏が就任されることになった旨、そしてご本人が紹介され、ご二人より

挨拶がありました。このあと、藤井校長先生から八農の近況について報告がありました。以上の後、議事に入り

一、平成二十五年年度

事業報告及び決算報告について

林総務企画部長から、別紙により事業報告及び決算報告があり、端会長より、全国農業大学校同窓会全国連盟総会・同窓会会長会議と関東ブロック同窓会会長会議に出席したこと、概況報告がありました。この後、小林正喜監事か

ら監事会・監査の結果について報告がなされました。そして、審議に入り、本議案は承認されました。

二、平成二十六年年度

事業計画及び予算案について

林部長から、別紙の事業計画及び予算案について説明が行われ、審議の結果、本家は原案どおり承認されました。

三、「暁天」の発行について

伊藤文保理事から、暁天の編集発行の進捗状況について報告があり、同紙のゲラ刷を掲示して詳細説明がなされ、発行は六月下旬を予定、本号は十二ページにしましたこと、特に暁天の内容について今後は刷新したい旨述べ、役員各位の意見交換をしました。

四、その他

(一)、暁天会の活動活性化について

このことについては、活発な意見が開陳されました。同期生会・県人会などが以前と比較すると活発でなくなっている昨今、如何にして呼びかけをするのか、世話係・幹事役をかってやっ下さる方々に啓蒙PRも積極的に展開してゆくことを申し合せ、役員が先頭に立つて盡力することにしました。

(二)、八農創立八十周年記念について
農業界とりわけ八農も厳しい情勢下にあるもの、農業とその人づくりが注目されてきた中、創立八十周年の節目の年が平成三十年であるため、これまで

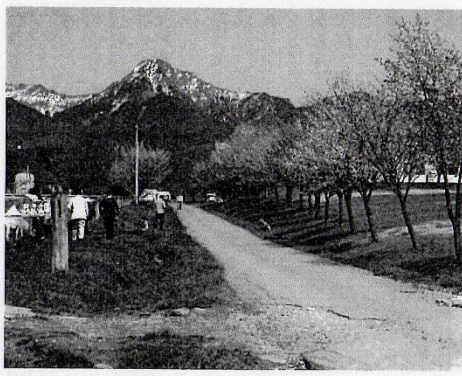


表1 暁天会 役員名簿

役職	氏名	卒業年度	役職	氏名	卒業年度
会長	端 武義	昭和32年度	理事	唐 木 一平	昭和43年度
副会長	小林 一良	昭和41年度	監事	小林 正喜	昭和38年度
理事	篠原 万郎	昭和56年度	監事	高橋 昭	賛助会員
理事	伊東 秀樹	昭和56年度			
理事	広町 悦雄	昭和58年度	顧問	藤井 智之	校長
理事	依田 弥生	平成9年度	顧問	島田 昭郎	昭和23年度
理事	伊藤 文保	賛助会員	顧問	青木 敏雄	昭和15年度
理事	塩沢 宗	昭和38年度	顧問	岡 角 一	昭和21年度
理事	藤本 人壽	昭和54年度	顧問	山下 英雄	元校長

表2 平成25年度 暁天会決算書

平成25年度 4月1日～平成26年 3月31日

●収入		(単位 円)		要
科目	予算額	決算額	摘要	
前年度繰越金	3,687,964	3,687,964		
同窓会費	405,000	375,000	25年度新入生会費24名 25年度秋入学1名 計15,000	
貯金利息	1,000	855		
雑収入	0	0		
調整額				
収入合計	4,093,964	4,063,819		
●支出				要
科目	予算額	決算額	摘要	
会報印刷費	300,000	217,350	暁天新聞印刷費	
通信運搬費	200,000	182,648	送料等	
会議費	40,000	16,950	関東ブロック同窓会会長会議	
分担費	50,000	32,500	全国協議会負担金	
旅費	250,000	232,620	役員会、暁天新聞発行手伝い等	
支部活動費	50,000	20,000	支部活動援助	
慶弔費	15,000	0		
嘱託費	30,000	0		
雑費	25,000	7,605	送金手数料2,205、包紙代1,680、印字代3,720	
小計	960,000	709,673		
次期繰越金	3,133,964	3,354,146		
支出合計	4,093,964	4,063,819		

暁天会の動き

本年度役員会

平成27年度の役員会は、5月30日、八農会議室において開催されました。

役員会の概要は、次のとおりです。

まず、端会長から、農業情勢と暁天会の近況報告がありました。

引き続いて、農村更生協会広井副会長から、ご挨拶と同協会の近況とこれからの八農運営・そして展望に関して具体的に申し述べられました。

以上の後、議事に入りました。

暁天会 役員名簿

名	卒業年度	役職	氏名	卒業年度
武 義	昭和32年度	理事	野 公	昭和57年度
沢 崇	昭和38年度	理事	奥 久	平成11年度
林 一	昭和41年度	理事	伊 文	賛助会員
東 秀	昭和56年度	監事	小林 正	昭和38年度
町 悦	昭和58年度	監事	高橋 昭	賛助会員
田 弥	平成9年度	顧問	藤井 智	校長
原 万	昭和56年度	顧問	下田 英	元校長
本 寿	昭和54年度	顧問	島田 昭	昭和23年度
木 一	昭和43年度	顧問	角 清	昭和21年度

一、平成26年度 事業報告及び決算報告について

藤井総務部長から、別紙により事業報告及び決算報告があり、全国農業大学校同窓会全国連盟総会・同会長会と関東ブロック同窓会会長会に出席したこと報告をした後、全国農大校プロジェクト発表会・八ヶ岳まるごと収穫祭にも参加し、激励した旨の発表がありました。

この後、小林正喜監事から監事会・監査の結果について報告がなされました。そして、審議に入り、本議

二、平成27年度 事業計画及び予算案について

藤井総務部長から別紙の事業計画及び予算案について説明が行われ、審議の結果、本議案は原案どおり承認されました。

三、「暁天」の発行について

伊藤文保理事から、暁天の編集発行の進捗状況について報告があり、同紙のゲラ刷を掲示して詳細説明がなされ、発行は6月下旬を予定、特に今後の内容についてはは学生募集に協力すべきことから刷新したい旨が述べられ、意見交換をいたしました。

四、役員選任について

端会長から、体制強化のため、役員増員をいたしたい旨述べられ、これが承認され、諮った結果、次の

理事 上野 公
同 奥 久司

なお、副会長には、塩沢崇理事が互選され、小林一良副会長は理事として留任されました。

五、その他

(一) 暁天会の活動活性化について

このことについては、活発な意見が開陳されました。同期生会の開催が以前に比較してみると特に若い会員が活発でないような傾向にあることから、如何にして呼びかけをするのか、世話係・幹事役をして下さる方々への啓蒙PRを積極的に展開してゆくことなどを申し合せ、役員が先頭に立ってやってみようことになりました。

(二) 八農創立80周年記念について

八農の創立80周年を3年後に控えているため、これ

平成26年度 暁天会決算書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

予 算 額	決 算 額	摘 要
3,354,146	3,354,146	
390,000	390,000	26年度新入生会費26名 @15,000
1,000	818	407,411
0	0	
3,745,146	3,744,964	

予 算 額	決 算 額	摘 要
300,000	228,960	暁天新聞印刷費
200,000	187,029	新聞発送費
40,000	24,036	関東ブロック同窓会長会費 18,320、役員会費・お茶 5,716
50,000	33,000	全国農業大学校同窓会負担金
250,000	180,090	役員会、暁天新聞発行手伝い等
50,000	30,000	支部活動援助
15,000	10,000	藤岡清氏香典
30,000		
25,000	8,848	送金手数料2,784、色紙代3,064、切手代3,018
960,000	701,963	
2,785,146	3,043,001	
3,745,146	3,744,964	

平成27年度 暁天会予算書(案)

平成27年4月1日～平成28年3月31日

予 算 額	前年度予算額	摘 要
3,043,001	3,354,146	
465,000	390,000	27年度新入生会費31名 @15,000
1,000	1,000	
0	0	
3,509,001	3,745,146	

予 算 額	前年度予算額	摘 要
300,000	300,000	暁天新聞印刷費
215,000	200,000	新聞発送費
40,000	40,000	関東ブロック同窓会長会費 役員会費・お茶
50,000	50,000	全国協議会負担金
250,000	250,000	役員会、仰天新聞発行手伝い等
50,000	50,000	支部活動援助
15,000	15,000	
30,000	30,000	
10,000	25,000	送金料切手代等
960,000	960,000	
2,549,001	2,785,146	
3,509,001	3,745,146	



いて、事務方としてタツチしてこられた伊藤理事・高橋監事の両人から、その準備と段取りなどについて拝聴。

これからは、暁天会・農村更生協会・八農の三者でをなすべきことを申し合わせました。全国各地の会員が本場に慶びを分かち合う、全員参加の記念行事とするためには、どうするかについてもフリースピーキングを行いました。

暁天会の動き

本年度役員会

平成28年度の役員会は、6月4日、八農会議室において開催されました。

役員会の概要は、次のとおりです。

まず、伊藤理事から端会長が体調不良のため欠席ですとの報告があり、会長の代理として、副会長が当てることでの了承を得ました。

副会長から本日の会議運営について特段のご協力をお願いいたします、との挨拶の後、新理事の紹介があり、それぞれ自己紹介をして頂きました。

上野公氏 山梨県韮崎市出身、昭和57年度研究科卒業後、八農大で6年間勤務、その後地元韮崎のJAで7年間畜産技術員を経て、自営をしている。

奥久司氏 大阪府枚方市出身、平成11年度研究科卒業後八農大で野菜部門を担当し現在に至っている。

次に、平成28年4月から就任された清水校長を紹介されました。

清水校長は群馬県下仁田町の神津牧場で場長をしていました。当校に於いては教育関係、経営改善の両面から取組んでゆきますので、卒業生の皆様のご協力をお

願いたします。当校に於いては教育関係、経営改善の両面から取組んでゆきますので、卒業生の皆様のご協力をお

願いたします。当校に於いては教育関係、経営改善の両面から取組んでゆきますので、卒業生の皆様のご協力をお

表1 暁天会 役員名簿

役職	氏名	卒業年度	役職	氏名	卒業年度
会長	端 武 義	昭和32年度	理事	野 公	昭和57年度
副会長	塩 沢 崇	昭和38年度	理事	奥 久 司	平成11年度
理事	小林 一 良	昭和41年度	理事	伊 藤 文 保	賛助会員
理事	伊 東 秀 樹	昭和56年度	監事	小林 正 喜	昭和38年度
理事	広 町 悦 雄	昭和58年度	監事	高 橋 昭	賛助会員
理事	依 田 弥 生	平成9年度	顧問	清水 水 矩 宏	校 長
理事	篠 原 万 郎	昭和56年度	顧問	山下 田 英 雄	元 校 長
理事	藤 本 人 寿	昭和54年度	顧問	島 田 昭 郎	昭和23年度
理事	唐 木 一 平	昭和43年度	顧問	両 角 清 一	昭和21年度

表2 平成27年度 暁天会決算書

平成27年4月1日～平成28年3月31日

●収入		(単位 円)		
科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要	
前年度繰越金	3,043,001	3,043,001		
同窓会費	465,000	465,000		27年度新入生会費31名 @15,000
貯金利息	1,000	758		
雑収入				
調整金		3,500		返戻金
収入合計	3,509,001	3,512,259		
●支出				
科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要	
会報印刷費	300,000	228,960		暁天新聞
通信運搬費	200,000	180,711		新聞発送郵便料
会議費	40,000	23,000		関東ブロック同窓会会長会議
分担金	50,000	35,500		全国同窓会員会費 (20,000円×31名×500円)
旅費	250,000	191,110		役員会、暁天新聞発行等
支部活動費	50,000	10,000		支部活動援助(新潟)
慶弔費	15,000	10,000		青木敬雄氏弔問香典
嘱託費	30,000			
雑費	25,000	4,877		送金手数料、急振代、記念品代、手土産代
小計	960,000	684,158		
次期繰越金	2,549,001	2,828,101		
支出合計	3,509,001	3,512,259		

願いたしますとのあいさつがありました。その後、高橋農場長から大学の近況説明がありました。

一、平成27年度 事業報告及び 決算報告について

藤森総務部長から別紙により事業報告及び決算報告がなされた。また、農大同窓会全国連盟総会と関東ブロック同窓会会長会議に出席し情報交換をされたこと、また、卒業式、入学式に出席し激励したことの発表をされた。

その後小林正喜監事から監査の結果について報告された。その後審議に入り、本議案は承認されました。

二、平成28年度 事業計画及び 予算案について

藤森総務部長から別紙の事業計画及び予算案について

て説明があり、審議の結果本議案は原案どおり承認されました。

三、「暁天」発行について

伊藤理事から暁天新聞の編集発行の進捗状況について報告された。同紙のゲラ刷りを掲示して詳細説明があり、発行は6月下旬を予定していると説明され、これ等についての意見交換をいたしました。

四、その他

○暁天会の活性化について 支部活動、同期会活動を活発にするよう、暁天会本部で支援金を出しているの、活用してもらいたい。

○暁天会の資金が年々減額している状況にあり、このことについては今後検討することとする。等の意見が提案された。

暁天会の動き

本年度役員会

平成29年度役員会は、5月13日、八農第一教室において開催された。役員会の概要は、次の通りである。

- 一、平成28年度事業報告及び決算報告(表2)
- 二、平成29年度事業計画及び予算(表3)
- 三、役員人事について
新任 副会長・小林正喜氏 監査・木下強氏
- 四、創立80周年記念事業について

これまでの検討結果と今後の進め方を協議した。「暁天」の発行について例年より一ヶ月早い五月下旬の発送を目指し編集を進めている。その他本年度第二回役員会を10月28日開催する。創立80周年記念事業の会場視察と実施内容の確認を行う。

暁天会 役員名簿

表1

役職	氏名	卒業年度	役職	氏名	卒業年度
会長	塩 沢 崇	昭和38年度	理事	奥 久 司	平成11年度
副会長	小林 正 喜	昭和38年度	理事	伊 藤 文 保	賛助会員
理事	小林 一 良	昭和41年度	監事	高 橋 昭	賛助会員
理事	伊 東 秀 樹	昭和56年度	監事	木 下 強	昭和49年度
理事	広 田 悦 雄	昭和58年度	名誉会長	端 武 義	昭和32年度
理事	依 田 弥 生	平成9年度	顧問	清水 矩 宏	校長
理事	篠 原 万 郎	昭和56年度	顧問	島 田 英 雄	元校長
理事	唐 木 一 平	昭和43年度	顧問	高 田 昭 郎	昭和23年度
理事	上 野 公	昭和57年度	顧問	岡 角 清 一	昭和21年度

平成28年度 暁天会決算書

表2

平成28年4月1日～平成29年3月31日 (単位 円)

●収入		●支出	
科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
前年度繰越金	2,828,101	2,828,101	
同窓会費	465,000	465,000	28年度新入生会費27名 @15,000×27名
貯金利息	1,000	297	
雑収入	0	0	
支出返戻金	0	0	
収入合計	3,294,101	3,293,398	
科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
会報印刷費	300,000	231,120	暁天新聞
通信運搬費	200,000	182,736	新聞発送郵便料
会議費	40,000	22,570	関東ブロック同窓会総会費等
分担金	50,000	35,500	農業大学校同窓会全国連盟年会費
旅費	230,000	259,760	80周年記念事業役員会、役員会、暁天新聞発行等
支部活動費	50,000	20,000	支部活動援助
慶弔費	15,000		80周年記念事業事務委託費
嘱託費	30,000		送金手数料等
雑費	25,000	2,052	
小計	940,000	753,738	
次期繰越金	2,354,101	2,539,660	
支出合計	3,294,101	3,293,398	

平成29年度 暁天会予算書

表3

平成29年4月1日～平成30年3月31日 (単位 円)

●収入		●支出	
科 目	予 算 額	前年度予算額	摘 要
前年度繰越金	2,539,660	2,828,101	
同窓会費	405,000	465,000	29年度新入生会費27名 @15,000×27名
貯金利息	1,000	1,000	
雑収入	0	0	
収入合計	2,945,660	3,294,101	
科 目	予 算 額	前年度予算額	摘 要
会報印刷費	300,000	300,000	暁天新聞
通信運搬費	200,000	200,000	新聞発送郵便料
会議費	40,000	40,000	関東ブロック同窓会議費等
分担金	40,000	50,000	農業大学校同窓会全国連盟年会費
旅費	300,000	230,000	80周年記念事業役員会、役員会、暁天新聞発行等
支部活動費	50,000	50,000	支部活動援助
慶弔費	15,000	15,000	
嘱託費	100,000	30,000	80周年記念事業事務委託費
雑費	25,000	25,000	送金手数料等
小計	1,070,000	940,000	
次期繰越金	1,875,660	2,354,101	
支出合計	2,945,660	3,294,101	

母校創立八十周年を迎えて



暁天会会長 塩 沢 崇

暁天会会員の皆様には益々ご健にて、ご活躍のこととお慶び申し上げます。

皆様ご承知の通り、本年は八ヶ岳中央農業実践大学の創立八十周年の年であり、私共暁天会としまして、予てから大学とによる実行委員会を構成いたしまして、募金活動のお願いや式典、記念事業の準備を進めて参りました。

来る平成三十年十月二十七日(土)に式典と記念事業(卒業生による意見・体験発表会)を、二十八日(日)には学校訪問をしていただく運びとなりました。

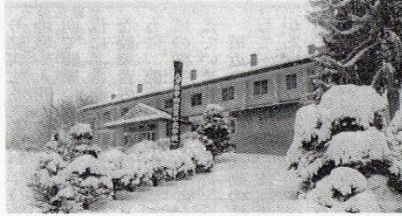
この間全国の会員各位におかれましては、募金への応募をはじめ、積極的なご協力を頂きまして、感謝に堪えないところであります。

今回は従来の記念式典と趣を変えた内容を考えてみました。卒業生のすばらしい経営内容を知っていただくこと、発表者は大先輩から若い層をまじえて構成させていただきました。今後参考になれば幸いですと考えております。

さて「運動は人づくりにあり」の理念のもと、昭和初期

の疲弊した農村の経済更生運動を支えてきた農村更生協会が、農林省の要請を受けて、ここ信州八ヶ岳山麓の原野に昭和十三年「八ヶ岳修練農場」を開場して以来八十年、今日を迎えました。八ヶ岳中央農業実践大学はこの修練農場を前身とし、戦後は「八ヶ岳高等農林講習所」そして「八ヶ岳経営伝習中央農場」と名称を変え、昭和四十八年より現在の大学に衣替えをして、発展を遂げて参りました。

その間関係機関や地元の皆様との並々なご支援と卒業生並びに職員等、先輩各位の筆舌に尽くせぬ努力によって、寒冷地の厳しい自然環境と闘いながら困難を克服し、今日の大学が築かれてきたことに對し、心からの敬意と感謝を八十周年を期に申し上げます。



本館兼教育棟夏・冬

最近の大学は、国内のみならず世界的な情勢変化の中で、学生募集は厳しい状況にありますが、非農家出身者と女子が多くなり、研究科では社会人経験者もおり「夢と志を」もって農業へ新規参入しようとする学生が確実に増えていることを実感しています。さて八十周年を十月に控えた現在、多くの同期会の開催が当日前後に予定され、往時の若かりし日々、想い出を語るうとする企画が私共が届いております。

来る記念式典には是非ご家族も含めてのご出席を賜わり、お互いの旧交を温め歓談の中から、今後の更なる発展を約束しあおうではありませんか。

記念式典の挙行の前には、会員各位の一層のご協力をお願いいたしますと併に、全国の会員各位の益々のご多幸とご発展をお祈り申し上げます。八十周年でお会いしましょう。

本科 二十五期生